「感じ」「動き」「かわる」…田平東小は今年度創立１５０周年！

さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校　学校だより　令和７年３月１０日　文責：校長　森川　稔

ありがとうの気持ちを込めて

１８日の卒業式を約一週間後に控え，本番に向けた練習も始まりました。

先週は卒業する６年生に感謝の気持ちを伝える「ありがとう集会」を行いました。各学年とも６年生に対して，歌詞をアレンジした歌や学校クイズなど工夫を凝らした出し物で気持ちを伝えました。それを見ている６年生は笑顔の中にも感動の表情も見え，あらためて自分たちが取り組んできたこと，学んできたことに対する在校生の感謝の気持ちを感じているようでもありました。

楽しい出し物やゲームのあと，６年生から各学年に言葉の贈り物がありました。それぞれの学年に向けられた言葉を聞きながら，涙を流す在校生の姿も見られました。その様子から，本校の子どもたち同士，学年間のつながりの強さを感じました。

また，集会の初めには，校旗の移譲がありました。創立 150 年目のリーダーである６年生から，次のリーダーとなる５年生に校旗が手渡されました。それぞれの思いや決意を述べ合い，田平東小の伝統と歴史が引き継がれる厳かで感動的な時間でした。

『伝統を受け継ぐ』とは，単に先輩がやってきたことをそのままやるという『形』を受け継ぐだけでなく，しっかりと活動や取組に込められた『心・思い』も感じ取り，受け継いでいく構えが大切です。まさに本校の学校教育目標に掲げている「感じ・動き・かわる」ということに直結します。今回の「ありがとう集会」や卒業式など節目の機会こそが，このような校風や伝統といった精神文化を学ぶ貴重な場となります。

感謝の気持ちを伝え合い，新たな決意や目標を意識することができたありがとう集会でした。

卒業に向けたプロジェクト

卒業までの登校日数が 10 日を切った 6 年生は，卒業式に向けた練習以外に，小学校生活のまとめとして，さまざまなプロジェクトに取り組んでいます。

卒業記念樹として学校の裏山にハクモクレン（白木蓮）を植樹しました。花言葉は「高貴な心」これからも子どもたちと一緒に元気に大きく育ってほしいと思います。

教頭先生が担当している書写の授業では，色紙に自分が好きな漢字一文字を書きました。真剣に気持ちを込めて書くことでそれぞれの思いを表すことができました。教頭先生のご指導で美しい字を書くことを意識するようになりました。

家庭科の学習でお世話になった方に感謝の気持ちを込めて調理実習でお菓子作りをしました。みんなで協力しておいしいドーナッツを作り，楽しく試食しながら袋詰めして全ての先生方へ感謝のメッセージを添えて手渡しました。とってもおいしいプレゼントでした。ALT のジャネー先生にも英語を交えて渡しています。

校長室では 6 年生と一緒に給食を食べました。卒業式に向けた練習の状況を点数で示し合ったり，中学校での部活動，制服のことを話し合ったりして普段の教室の給食とは違った楽しい時間でした。

田平東小ＨＰはこちらから→